

E.ONとの事業再編完了のお知らせ

- innogyの再生可能エネルギー事業、ガス貯蔵事業、KELAG社株式を新生RWEに統合、従業員2700人はRWEグループに合流します。
- 新生RWEのグローバル拠点は、世界4大陸40ヵ国に拡大します。

2020年7月1日 エッセンにて

RWE CEO ロルフ・マルティン・シュミッツ：「本日私達は、2年間の取り組みの集大成の日を迎えました。新生RWEへの再編がすべて完了したのです。より大きく、より多様化した新生RWEには明確な目標があります。2040年までにカーボンニュートラルを達成するという、他に類を見ない高い目標です。満を持して世界規模での成長に挑む強力な再生可能エネルギー事業部門、エネルギー新時代への確実な架け橋となる、調整力ある従来型発電所、そして、世界のエネルギー市場でチャンスを掴むための専門知識に精通したエネルギー取引部門を持つ私達は、素晴らしいポジションを手に入れています。」

ドイツ産業史上最大規模の事業再編が最終段階を迎えた今日、innogyの事業がRWEに譲渡され、RWEとE.ONの資産交換がついに完了いたしました。これにより、風力、太陽光、水力発電事業、および、バイオマス、バイオガス、ガス貯蔵事業がRWEに移管されます。本日譲渡となるもうひとつの資産は、innogyが保有するオーストリアの電力会社Kelagの株式で、同社の水力発電事業によってポートフォリオは完全なものになりました。2019年秋に、E.ONの再生可能エネルギー事業をRWEに移管しており、この度のinnogyの事業統合は事業再編の最終プロセスとなるものです。

事業再編プロジェクトの陣頭指揮を執ってきたRWEのCFOマルクス・クレッバーは、満面の笑みで話します。「いよいよアクセルを全開できます。申し分のない出発点です。世界規模の巨大な再生可能エネルギーポートフォリオに、完璧に補完し合う実績豊富な2つのチーム、そして強力な投資計画。これによって、市場をリードする弊社の地位はさらに強固なものになるでしょう。」

RWEは、再生可能エネルギー発電で世界最大手のひとつです。洋上風力発電では世界第2位となっています。現在の再生可能エネルギーポートフォリオを13ギガワット以上に拡大すべく、欧州、北米、アジア太平洋地域において約50億ユーロの純投資を計画しています。そのうち10億ユーロは、ドイツ国内のプロジェクトに投入する予定です。今回の再編により、2700人の社員がinnogyからRWEに合流することになります。



お問い合わせ先 :

Stephanie Schunck
RWE AG
Head of Corporate Communications &
Energy Policy
T +49 (0) 201 5179- 5177
stephanie.schunck@rwe.com

Lothar Lambertz
RWE AG
Head of Group Press Relations
T +49 (0) 201 5179-5008
lothar.lambertz@rwe.com

RWE AG

新生RWEは、RWE Renewables、RWE Generation、RWE Power、RWE Supply & Tradingの4つの子会社と約43ギガワットの発電容量を持つポートフォリオを活用して、クリーンで信頼性の高い電力を手頃な価格で供給しています。新生RWEの再生可能エネルギー発電容量は、水力とバイオマスを含め、約10ギガワットに達しています。RWEは、2022年までに陸上・洋上風力発電、太陽光発電、ストレージ技術に最大50億ユーロの純投資を行うことで、さらなる拡大を目指しています。また、ガス、石炭（無煙炭）、褐炭、原子力による発電も手掛けています。RWE Supply & Tradingは、当社と世界のエネルギー市場のインターフェースです。エネルギー転換を推し進めるべく、蓄熱発電所や、エネルギー源としての水素の生成と利用、Power-to-Xプロセス（電力を燃料やエネルギーの輸送・貯蔵を担う化学物質に変換する技術）など革新的なプロジェクトにも投資を行っています。ドイツのエッセンに本社を置くRWEグループは、世界で約2万人の社員を擁しています。

将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、経営陣の現在の見解、期待、想定を反映したものであり、経営陣が現在入手可能な情報に基づいています。将来の見通しに関する記述は、将来の結果や発展を保証するものではなく、既知および未知のリスクや不確実性の影響を受けます。実際の将来の結果や発展は、様々な要因により、本資料に記載されている期待や想定から大きく乖離する可能性があります。これらの要因には、主に一般的な経済環境や競争環境の変化が含まれます。また、金融市場の動向や為替レートの変動、国内法や国際法、特に財政規制に関する法律の変更等は、当社の将来の業績や動向に影響を与えます。当社およびその関連会社は、本プレスリリースに含まれる記述を更新する義務を負うものではありません。

RWEは、GDPRの導入後もお客様にプレスリリースという形で現在のRWEトピックについてお知らせし、ご連絡させていただきたく存じます。プライバシーポリシーを変更いたしましたので、ここにお知らせします。当社がマーケティング目的のために収集、保存、処理する個人データは、第三者には提供されません。個人データに関する記述は任意でした。お客様には、いつでもこの使用を禁止する権利があります。お客様はまた、保存したお客様の個人データに関する情報を当社から入手し、当該データの処理または使用に異議を申し立てる権利をいつ何時も有します。今後プレスリリースを受け取られたくない場合は、datenschutz-kommunikation@rwe.com までご連絡ください。お客様のデータを当社のシステムから消去し、プレスリリースが送信されないようにいたします。当社のプライバシーポリシーに関するお問い合わせは、datenschutz@rwe.com までお願いいたします。